

平成27年度 患者満足度調査の実施結果について

当院では、患者さんの率直な声をお聞きして、より良い医療サービスを提供することを目的とした『患者満足度調査』を年1回実施しております。調査期間中は多くの患者さんにご協力をいただき、ありがとうございました。以下に調査結果の一部をご紹介します。

◎調査概要

区分	実施期間	回収状況
入院	平成27年12月7日(月)～20日(日)14日間	261枚(282枚配布、回収率92.6%)
外来	平成27年12月16日(水)、17日(木)2日間	500枚(507枚配布、回収率98.6%)

医療広告ガイドラインに則り、

ホームページ上では公開しておりません。

患者満足度調査を実施している旨及び当該調査の結果を提供している旨（広告告示第3条第9号関係）

患者満足度調査を実施している旨、当該調査の結果を提供している旨又は当該調査の結果の入手方法等については広告可能であるが、当該調査の結果そのものについては、広告が認められていないことに留意すること。

【医業若しくは歯科医業又は病院若しくは診療所に関する広告等に関する指針（医療広告ガイドライン） 第5 広告可能な事項について 4 広告可能な事項の具体的な内容 （13） 法第6条の5第3項第13号関係より抜粋】

アンケートの結果は、医師、看護師、事務等、各部門で確認し、サービス改善に取り組んでいます。今後とも、患者さんに満足していただける病院を目指し、サービス向上に努めてまいります。

♪ お問い合わせ 庶務課企画係 ♪

♪ 多摩南ミニ通信を入手されたい方は、患者支援センター地域連携部門まで ♪

今月の医療 膝の手術 (UKAとTKA) について

整形外科

変形性膝関節症や大腿骨顆部の骨壊死のような疾患に対して、内服・関節注射・運動療法(リハビリテーション)等の保存的加療(手術以外の治療)をしても、疼痛が緩和されず著しく日常生活に支障をきたしている様な方には、人工膝関節置換術という手術的加療が選択されることがあります。

その人工膝関節置換術には人工膝関節全置換術(TKA)と単顆置換術(UKA)があります。

どちらの手術方法も、今までの疼痛(特に歩行時の荷重時痛)を緩和することが一番の目的です。人によっては膝の動きが良くなることも期待できます。

人工膝関節全置換術(じんこうしつかんせつぜんちかんじゅつ) Total Knee Arthroplasty (TKA)

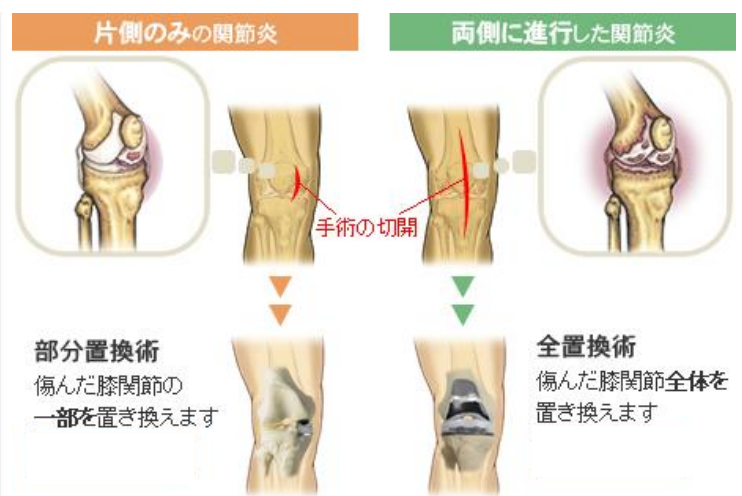
膝関節をすべて人工物に置き換える手術で、日本で行われている人口膝関節置換術の多くを占めます。



人工膝関節単顆置換術(じんこうしつかんせつたんかちかんじゅつ) Unicompartmental Knee Arthroplasty (UKA)

関節軟骨と傷んだ骨の表面を切除して、**関節の一部(半分)のみを人工関節に置き換える**手術です。特に、大腿骨顆部の骨壊死のような疾患に適応となります。

関節全体を置き換える全置換術に対して、**傷んだ部分のみ(片側、ほとんどの場合が内側)を置き換える**のが単顆置換術で、手術時間、出血量、術創(傷)の大きさ、術後疼痛の程度、術後リハビリテーションでの回復時期等、**全置換術に比べると単顆置換術の方が低侵襲(体に負担が少ない)**な傾向にあります。



しかし、この単顆置換術の手術をするためには、幾つかの条件(適応)があり、どなたでも手術できるというわけではありません。当院では慎重に適応を判断し、この手術が相応しいという患者さんには、当手術を行っております。もし、ご質問やご希望があればお気軽に外来担当医までご相談ください。

整形外科医員: 小林 望

☆当院は紹介制の医療機関のため、まずかかりつけ医にご相談いただくようお願いいたします。